第5回(7月7日)土木自主討論 －沖縄報告－

理工学部の全ての学友諸君！

当校当局の理不尽なロックアウト策動と学部への人的物的規制と入構的に規制し、連続4回の自主討論を勝取した！自主討論実行委員会は、もう中旬予定の大衆的決起の後、東大（東工大）より桜井氏を迎えて沖縄報告 沖縄解放闘争の現局面について集団的討論を行います。

昨年11月21日の日米共同声明で、佐藤首相下アメリカ帝国主義の沖縄返還を帝国主義の輪の連合に於いて主張するものであった。その最右である沖縄は従ってその再編の焦点として位置づけられた。昨年の返還は、戦後アジア帝国主義支配の打倒の戦略こそあるし、その結果はヴェトナムの民族解放闘争をはじめとするアジア人民の斗いであり、その結果の米帝の軍事的敗北である。として更にニクソンドクトリンにより保証された日帝の65年日韓条約とメルクマールと呼るアジア進出へのステップとしても承認しなければならない。また70年以政治期への日本による本土的安保体制への総合）問題。そして米軍基地の沖縄基地からの部分的な縮小と言提する再編強化。それに伴う一勝者の大量解雇、金融資本系の本土の平和産業の離散への沖縄基地建設等々公害と地域への再配化という系統への的結合等にみられる諸矛盾を我々自身の手で受け止め、これからの斗争体として沖縄をどうとらえていかねばならないのかを、3月中旬より2ヶ月沖縄にわたり沖縄の住民と一体となってヨコって来た桜井氏と考えて行きたいと考えてます。

日時・7月7日 火よう 2じ半

場所・7号カン 721講堂

テーマ・沖縄報告―沖縄闘争の現局面

討論・東大(?)工・桜井 氏

主催・土木自主討論実行委員会